

決算説明資料

2022年度 第1四半期

2022年8月10日

日本電解 株式会社



/ Contents

1. 業績ハイライト
2. 2022年度 Q1決算概要
3. 2022年度通期業績見通しの修正
4. 参考資料



/ Contents

1. 業績ハイライト
2. 2022年度 Q1決算概要
3. 2022年度通期業績見通しの修正
4. 参考資料



経営成績

- 売上高 4,419百万円（前年同期比 9.7%減）
- 営業利益 △ 337百万円（前年同期比 648百万円減）
- EBITDA △ 29百万円（前年同期比 644百万円減）

事業環境

- 一部主要顧客における販売シェア低下、半導体供給不足の長期化等により販売状況が一変。
 - ⇒ 車載電池用銅箔：一部主要顧客にてシェアダウン、半導体供給不足の長期化
 - ⇒ 回路基板用銅箔：中国スマートフォン向け需要減速、半導体供給不足の長期化
- 生産数量は全品種合計で 2,071トン（前年同期比32.2%減）にとどまる。
- 生産高減少により操業度が低下。電力単価高騰等のコストアップ要因も重なり、収益が獲得しにくい状況に。



/ Contents

1. 業績ハイライト
2. 2022年度 Q1決算概要
3. 2022年度通期業績見通しの修正
4. 参考資料

Points

- 売上高は、主要顧客における販売シェア低下、半導体供給不足の長期化等により前年同期比△9.7%減収
- 営業利益は、上記販売減少要因に加え、電力単価の高騰、米国子会社における生産障害等により減益

(百万円)	前年同期	2022年度 Q1	前年差	増減率
売上高	4,895	4,419	△476	△9.7%
うち 車載電池用銅箔	3,274	2,729	△545	△16.6%
うち 回路基板用銅箔	1,621	1,690	68	4.3%
営業利益	311	△ 337	△648	— *
経常利益	283	△ 318	△602	— *
親会社に帰属する 四半期純利益（純損失）	196	△ 294	△491	— *

* 赤字と黒字の比較となるため、増減率の表示を省略しております。

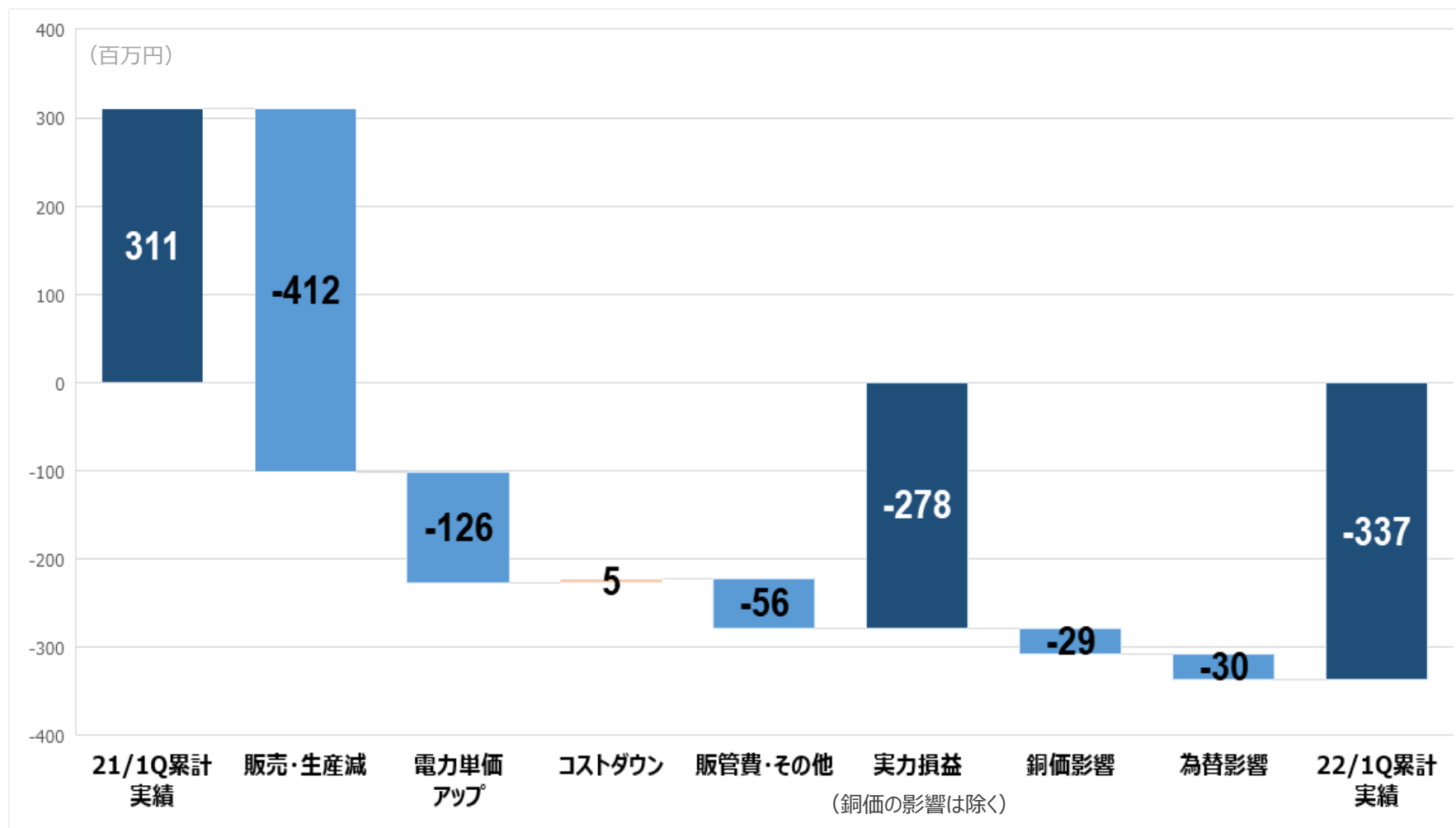
営業利益及びEBITDA (2022年度4-6月累計・連結ベース)



(百万円)	前年同期	2022年度 Q1	前年差	増減率
売上高	4,895	4,419	△476	△9.7%
売上原価	4,329	4,426	97	2.3%
売上総利益	566	△7	573	—*
売上総利益率 (%)	11.6%	△0.2%	△11.8%	—*
販売費及び一般管理費	255	330	74	—*
販管費比率 (%)	5.2%	7.5%	2.3%	—*
営業利益	311	△337	△648	—*
営業利益率 (%)	6.4%	△7.6%	△14.0%	—*
減価償却費	303	307	3	—*
EBITDA	614	△29	△644	—*
EBITDAマージン (%)	12.6%	△0.7%	△13.3%	—*

* 赤字と黒字の比較となるため、増減率の表示を省略しております。

■ 販売減と生産数量減少による操業度低下、電力単価高騰等により減益



2022年 4-6月 設備投資実績



(百万円)

4,000

3,500

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

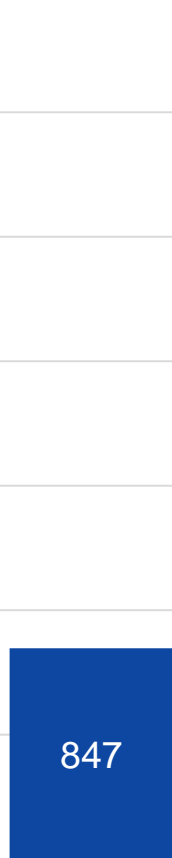
0



FY2018



FY2019



FY2020



FY2021



FY2022
(4-6月)

■ 日本

■ 米国

(4-6月)



/ Contents

1. 業績ハイライト
2. 2022年度 Q1決算概要
3. 2022年度通期業績見通しの修正
4. 参考資料

2022年度（通期）業績見直し修正



(百万円)	前回発表 当初予想 (A)	今回修正予想 (B)	修正後差額 (B - A)	2021年度 実績
売上高	20,935	18,000	△2,935	20,558
うち 車載電池用銅箔	13,890	11,500	△2,390	13,589
うち 回路基板用銅箔	7,045	6,500	△545	6,969
営業利益	435	△500	△935	1,004
経常利益	219	△800	△1,019	976
親会社株主に帰属する 当期純利益	25	△800	△825	848
EBITDA	1,657	700	△957	2,278

<参考> 業績見通しの前提

	FY2022 見直し		FY2021 実績
生産数量	: 10,728 ^{ト>}	→ 9,200 ^{ト>}	11,936 ^{ト>}
銅相場価格	: 1,200円/Kg	→ 1,100円/Kg	1,136円/Kg

2022年度（通期）修正後業績見通し

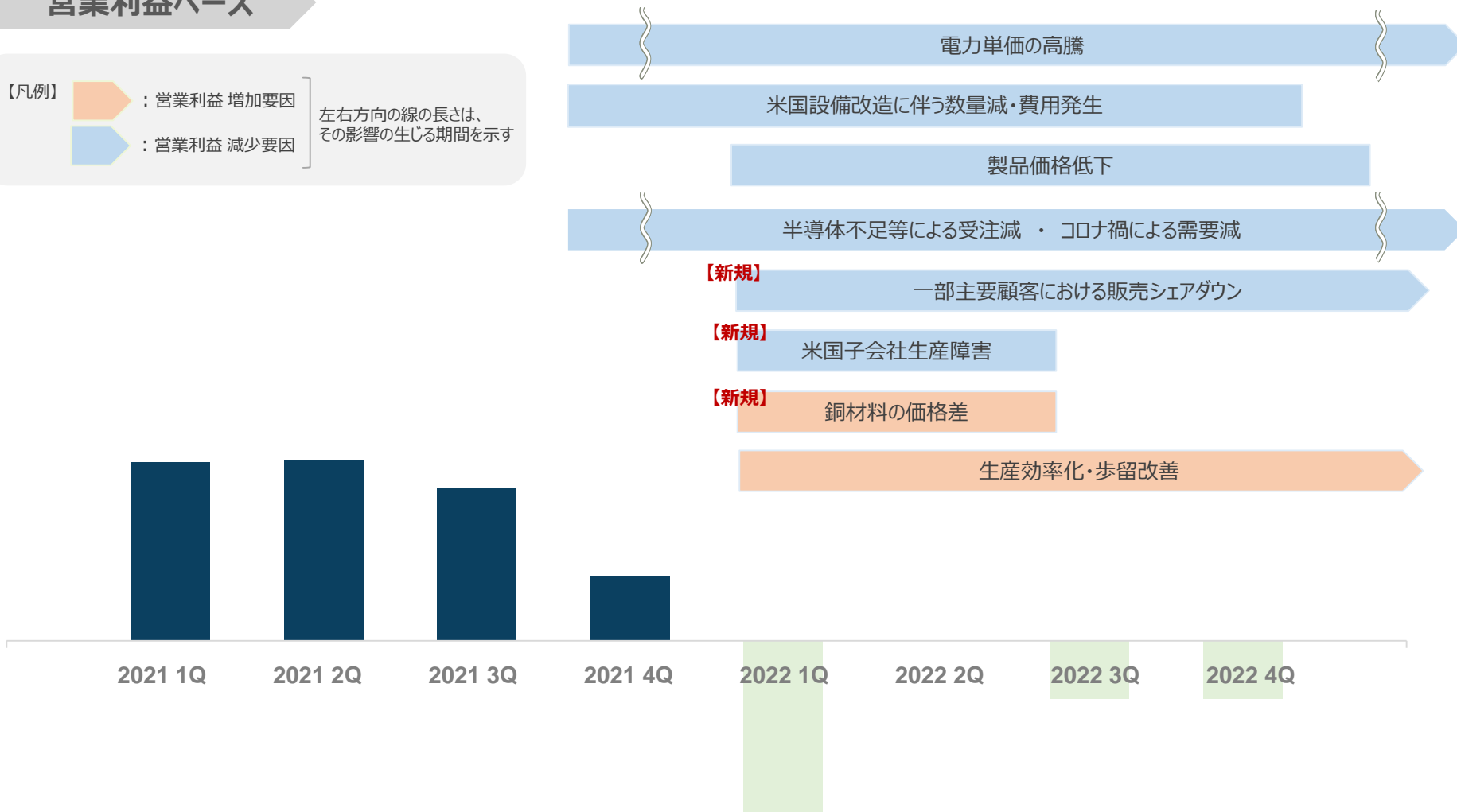


営業利益ベース

【凡例】

- （オレンジ色）：営業利益 増加要因
- （青色）：営業利益 減少要因

左右方向の線の長さは、その影響の生じる期間を示す



当初予想(5月13日)からの変化影響



要因項目	影響額	今回修正 8月10日時点	当初予想 5月13日時点
【新規要因】 一部主要顧客における販売シェアダウン	△4億円	△4億円	—
半導体不足等による受注減・ コロナ禍による需要減	△4億円	△4億円	±0億円
電力単価の高騰	△2億円	△6億円	△4億円
【新規要因】 米国子会社 生産障害	△1億円	△1億円	—
【新規要因】 銅材料の価格差	+1億円	+1億円	—
生産効率化・歩留改善等	+1億円	+3億円	+2億円
製品価格低下	—	△2億円	△2億円
米国設備改造に伴う数量減・費用発生	—	△1億円	△1億円
合計	△9億円	△14億円	△5億円

※上記の影響額は概数でお示しているため、P11の増減額と一致しない場合があります。

< 挽回策 >

● 拡販・コスト削減の両面 に取り組む

- 既存顧客への拡販
 - ・製品世代交代を狙った拡販と低シェア高成長顧客への注力
- 新規顧客開拓
 - ・海外基板顧客への新規販売
- 高付加価値製品の拡販
- 新製品の早期戦力化
 - ・次世代電池用銅箔の市場投入
 - ・5G通信以降の通信規格に対応する回路基板用銅箔の開発
- 生産性改善のための投資（IoTの拡大等）



発表予定日

2022年11月10日 (木)



/ Contents

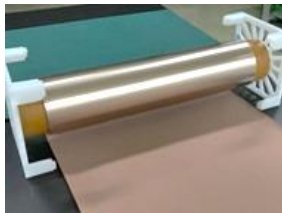
1. 業績ハイライト
2. 2022年度 Q1決算概要
3. 2022年度通期業績見通しの修正
4. 参考資料

2021年度 製品別売上構成

回路基板用銅箔

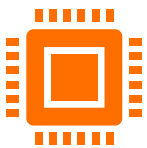
HL・Seed箔

密着性・低損失・高強度



用途

フレキシブルプリント配線板、
半導体パッケージ基板



主要最終製品



5Gスマートフォン



5G通信
基地局 等

車載電池用銅箔

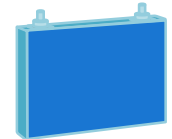
YB箔

高引っ張り強さ、高伸び率



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



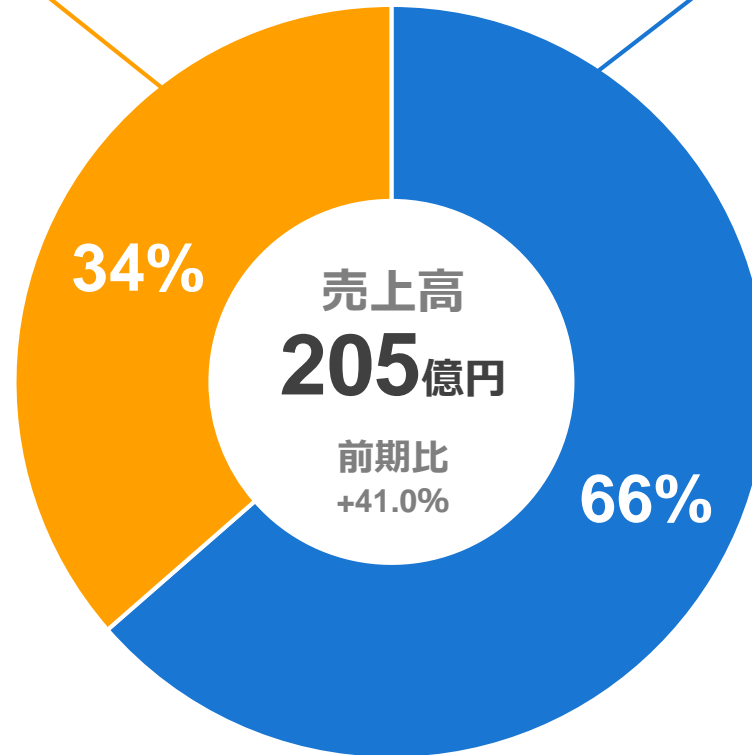
主要最終製品



EV



HV



EBITDA¹ 22億円
EBITDAマージン 11.1%

経営成績の推移（四半期・連結ベース）

(百万円)	FY2021 Q1 (A)	FY2021 Q2	FY2021 Q3	FY2021 Q4	FY2022 Q1 (B)	前年差 (B - A)
売上高	4,895	5,176	5,397	5,088	4,419	△476
うち 車載電池用銅箔	3,274	3,381	3,463	3,469	2,729	△545
うち 回路基板用銅箔	1,621	1,794	1,933	1,619	1,690	68
売上原価	4,329	4,599	4,860	4,737	4,426	97
売上総利益	566	576	536	351	△7	△573
売上総利益率 (%)	11.6%	11.1%	9.9%	6.9%	△0.2%	△11.8%
販売費及び一般管理費	255	263	269	237	330	74
販管費比率 (%)	5.2%	5.1%	5.0%	4.7%	7.5%	2.3%
営業利益	311	313	266	113	△337	△648
営業利益率 (%)	6.4%	6.0%	4.9%	2.2%	△7.6%	△14.0%
経常利益	283	322	268	101	△318	△602
当期純利益	196	242	192	216	△294	△491
減価償却費	303	314	318	337	307	3
EBITDA	614	627	585	451	△29	△644
EBITDAマージン(%)	12.6%	12.1%	10.8%	8.9%	△0.7%	△13.3%
生産トン数	3,053	3,181	3,073	2,627	2,071	982

ESGへの取り組み

Environment

xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ。
当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、**脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献**いたします。



取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



当社グループの銅材料は、**リサイクル銅100%**を使用しています。

当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています。



取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Social

パトラン活動

安心安全な街づくり/社員の健康維持・増進

2021年8月より毎月2回、茨城県筑西市内で、防犯と清掃活動を目的としたパトラン（パトロールランニング）を実施しております。



取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Governance

指名・報酬委員会の設置

2022年2月、取締役会で選ばれた取締役3名（うち過半数は独立の社外取締役）で構成する「指名・報酬委員会」を設置しました。

この「指名・報酬委員会」は、取締役会の諮問を受け、取締役の選任・解任に関する事項、代表取締役の選定・解職に関する事項のほか、監査等委員ではない取締役の報酬等に関する事項等について審議を行った上で取締役会に答申を行います。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



この資料の取扱いについて

本資料は、日本電解株式会社（以下「当社」といいます）及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社

Nippon Denkai, LTD.